

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	日本語教育センター(国際連携機構)
大項目	11 教員・教員組織
中項目	
小項目	11.0.2 学部・研究科等の教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。
要素	編制方針に沿った教員組織の整備 授業科目と担当教員の適合性を判断する仕組みの整備 研究科担当教員の資格の明確化と適正配置(院・専院)
小項目	11.0.3 教員の募集・採用・昇格は適切に行われているか。
要素	教員の募集・採用・昇格等に関する規程および手続きの明確化 規程等に従った適切な教員人事
小項目	11.0.4 教員の資質の向上を図るための方策を講じているか。
要素	教員の教育研究活動等の評価の実施 ファカルティ・ディベロップメント(FD)の実施状況と有効性

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2011年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価		
		2011	2012	2013
1. 日本語教育の全学的体制に係る新たな人事構想案を策定する。	人事構想案の策定状況 評価基準： A→人事構想案を策定 B→評価基準なし C→評価基準なし D→未策定	D	B	
2. 常勤講師の充足率を100%にするための見直し案を作成する。	見直し案の作成状況 評価基準： A→見直し案を作成 B→評価基準なし C→評価基準なし D→未策定	A	A	
3. 日本語教育センター内の連携・連絡体制案を策定する。	連携・連絡体制案の策定状況 評価基準： A→連携・連絡体制案を策定 B→評価基準なし C→評価基準なし D→未策定	A	A	
4. 日本語教員の資質・能力向上のための活動案を作成する。	活動案の作成状況 評価基準： A→活動状況案を作成 B→評価基準なし C→評価基準なし D→未策定	A	A	

☆

2012年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価		
		2011	2012	2013
5. グローバル人材育成推進事業の一環でセンターが2013年度より新たに提供することになった「日本語教育科目」を担当するための常勤講師を新たに採用する。	→常勤講師の採用状況 A→採用した B→未採用だが2013年度中に採用予定あり C→未採用だが2014年度に採用予定あり D→未採用で採用予定なし			
	→			

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2012年度においては関西等の他大学における日本語教育科目の提供状況と専任教員の人数等を調査し、必要な教員数の算出を行って、今後、人事構想委員会で検討するための基礎資料を作成することとしており、2013年2月から3月にかけて東京並びに関西の主だった日本語教育機関（早稲田大学、上智大学、ICU、同志社大学、立命館大学、関西大学、大阪大学）において、日本語教育科目の提供状況と専任教員の人数等についてヒヤリングを行った。
目標2	2010年度に2件、2011年度に1件の採用人事を行い、常勤講師の充足率は100%となった。しかし、特別契約教員は1名欠員のままであるため、その枠で2012年度中に常勤講師を1名採用し、しかるべき時期に特別契約教員の採用人事を実施するという案を作成し、学長室の了解を得た。このことを受けて、2013年4月1日付けで特別契約教員枠（1名）で常勤講師を1名採用した。
目標3	日本語教育センターの執行部による連絡会に加え、センターに所属する全教員が参加する「拡大日本語教育センター連絡会」を月1回開催するという案を策定し、2012年度は10回実施した。さらに、2013年度からは特別契約准教授、日本語常勤講師の連携を密にするために、月1回講師室会を開催することにした。
目標4	日本語教育センターが主催する「関学日本語教育研究会」におけるFD活動の実施案を作成し、すでに2011年度、2012年度に実施している。その内容は2011年度、2012年度の各3月刊行の「日本語教育センター紀要」で詳細に報告されている。
備考	2012年度以降に設定した「目標」に「グローバル人材育成推進事業の一環でセンターが2013年度より新たに提供することになった「日本語教育科目」を担当するための常勤講師を新たに採用する。」を追加し、左記目標の「指標」として、「常勤講師の1名採用」を追加する。